

名水クラブレポート

☆☆第572回7月例会のお知らせ☆☆

日時： 7月21日(水) AM 8:00~9:30

会場： ホテル名古屋ガーデンパレス 2F

名古屋市中区錦3丁目11-13

☎ 052-957-1022 (代)

講師： 木下 唯志 様 (きのしたただし)

岡山県出身

1974年明治大学経営学部卒業 体育会剣道部

木下サーカス(株)代表取締役社長(4代目)

演題： “世界一の魂の集団を目指して”
～100年続く企業経営～



◎第571回6月例会報告

日時： 6月30日(水) 8:00~9:30

*コロナ禍にて変則開催

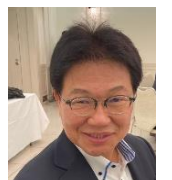
場所： ホテル名古屋ガーデンパレス 2F 「翼」

出席者数： 会員25名出席

司会： 川嶋会員

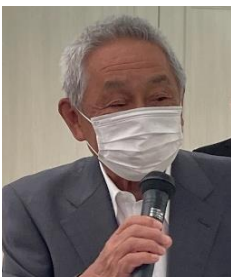
本日はゲストで校友会愛知県支部

吉岡幹事長にお越しいただいております。



吉岡幹事長

<天野会長挨拶>



おはようございます。

本日はコロナ禍で日程を変則しての例会ですが、皆様お元気で何よりです。

学生時代、よく神宮球場へ応援に行っていました。当時は神宮へ行くとその日の授業が出席扱いになりました。

ピッチャーは後藤と八木がいて、4年の最後に1回だけ優勝して、ありがたかったです。

名古屋に応援団で私の1つ年上の野村さんという方がみえます。野村さんとは親しく話をしたことは一切なかったんですが、私が50歳位の頃に、名古屋のある寿司屋で初めて応援団の野村さんとばったり会いました。そうすると当時の顔を思い出しますよね。神宮球場で応援団の野村さんの姿とそれを見ながら応援する純粋な学生当時の姿が30年間に熟成されて脳に蘇るんです。嘘ではなくて本当の話です。今日は本流中の本流、いかにも明治らしい野球部の丸山さんに島岡御大のお話を遠慮なく、たっぷりとお話ししたいと思います。



<西脇副会長>



皆様、おはようございます。
 今日は校友会から少し驚きのご案内があります。
 全国校友大会が毎年開催され、高橋先輩とお仲間は毎回ご参加されていていらっしゃるわけですが、昨年2020年はうどん県の香川県、今年は福島県の予定でしたが、新型コロナ感染の影響を受け、中止となりました。
 来年2022年は岡山県支部に於いて、木下大サーカスの木下支部長を筆頭に準備が進んでいるところです。
 ところが、コロナ禍により2023年と2024年の開催が不確定となり、全国校友大会の開催が白紙の状態になりました。このままでは2年の空白が生じ、校友会の士気向上の最大のピンチとなり、毎年、全国大会への出席を楽しみにしている校友のためにも、2023年の全国校友大会の開催地の決定は、喫緊の課題です。“義を見てせざるは勇無きなきなり”
 ということで、校友会愛知県支部として立候補させていただきました。

<明治大学全国校友大会の実績>

第 8回	1962年	愛知大会 (ミカド)
第41回	2005年	愛知大会 (ウェスティンホテルキャッスル)
)	支部長：小林一光氏 講演会講師：星野仙一氏
第54回	2018年	石川大会 (台風接近の中開催)
第55回	2019年	千葉大会 (開催1週間前に台風上陸)
第56回	2020年	香川大会→中止 (コロナ感染拡大)
第57回	2021年	福島大会→中止 (コロナ感染拡大)
第58回	2022年	岡山大会→木下支部長の下開催予定
第59回	2023年	愛知大会開催に向け立候補 総会会場：ウインクあいち (予定) 懇親会会場：名古屋マリオットアソシアホテル (予定)
第60回	2024年	茨城大会→中止 (コロナ禍で会場工事の遅れ)
第61回	2025年	福井大会→北陸新幹線開通に向け2023年から変更

実は全国校友大会の事業費は3千万円かかります。
大学から支援金(500~600万円程度)、参加費1人1万円、参加者1,300人とした場合、広告費が1千万円の試算となる事業規模です。
やるからには日本の真ん中にある愛知県の底力をしっかりと示したいと思っております。名水クラブの皆様には、物心共にご支援をいただきたいので、2023年まで是非ともお元気でいてくださるようお願い致します。

◆卓話◆

講 師： 丸山 清光様(まるやまきよみつ)



1953年(昭和28年)長野県生まれ。
1972年(昭和47年)上田高校卒業後、明治大学商学部入学。
在学中は硬式野球部所属、島岡吉郎監督の下で、
東京六大学リーグ優勝3回。
1975年(昭和50年)主将・エースとして活躍し、
江川卓を擁する法政を抑えて春秋連覇。
投手としてリーグ通算20勝7敗。
卒業後は朝日新聞社入社、販売局勤務を経て、
関連企業の朝日トップス、朝日サービス社長を歴任。
現在は合同会社北海道信州グッドラボ代表



著書：「なんとかせい! 島岡御大の置き手紙」

発行：文藝春秋企画出版部
初版第1刷発行：2020年9月30日



演 題： 「島岡御大を想う」
～明治魂を植え付けた監督業37年～

名水会の皆様、おはようございます。丸山と申します。
1976年 昭和51年商学部、硬式野球部卒業です。歴史ある名水会にお呼びいただきましたこと、喜ばしく思っております。
昨年、著書(なんとかせい!)を出しまして、色々なところから講演のお声がかかります。お手元の本を購入いただきまして、本当にありがとうございます。
明治と言えば校歌です。日本三大校歌と言えば、明治・早稲田・北大だという人が多いんですが、早稲田は明治を入れてない。
日本三大校歌なんて言ってるのは明治だけだという人もいますが、良い校歌には間違いなく、誇りに思っています。

明治の校歌はちょうど島岡御大が監督になった時に作られたそうで、詳しくは軍事貞則(明治大学文学部卒業)著書「おお、明治—白雲なびく校歌誕生物語」をお読みください。校歌を聴くと落ち込んでいても元気が出てくるのでCDにして携帯しています。



球歴

- 長門町長久保小学校の校庭で放課後毎日遅くまで野球
- 依田窪南部中学で軟式野球
- 甲子園に憧れて丸子実高を目指す、なぜか上田高校へ3年夏は初戦で丸子実高に敗退、消化不良で
- 早稲田の白いアンダーシャツに憧れたが
- 明治大学野球部の門を叩く、島岡吉郎の存在を初めて知る努力の甲斐と運に恵まれ、3度の優勝と明治神宮大会制覇卒業後は仕事と酒に溺れ、野球から離れたが、
- 社会人10年目で社会人野球クラブチームで選手、総監督
- その後は、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症でゴルフも断念

私は明治大学卒業後は朝日新聞社に入社し、社会人野球クラブチームで選手、総監督をしましたが、変形膝関節症等の怪我で、ゴルフも断念。今は68才ですから70才からゴルフができるようリハビリ中です。朝日新聞では営業で、仕事が楽しくて遅くまで仕事し、酒浸りの毎日でしたので肝機能を悪くし、医者に死んじゃうぞと、言われるほどでした。それから酒を赤ワインに変え、赤ワインだけを3年呑み続けたら、肝機能が正常に戻り、酒で肝臓を治しました。ワインが美味しいので食べ過ぎまして、一昨年、心筋梗塞を患って、食事療法で15~16kg減量して正常値になり、今は健康になりました。この本を書くきっかけは、前から島岡監督のことを書けと言われてはいたのですが、新聞記者じゃないし…とその気になれませんでした。それが、心筋梗塞で10日間程入院して5日程たった時に医者にパソコン使用の許可を得て、島岡さんのことを書き始めたら、あっという間に原稿用紙100枚位になり、これは本を出したら面白いとうちで資料を集めて推敲し、350ページになりました。出版社の文藝春秋に「目次」が面白いと褒められたり、読者から「目次」で買ったとか言われます。



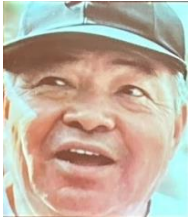
目次

序言 はじめに

- 第1章 「ここは野球部の合宿所ではない、人間修養場だ」
- 第2章 「野球の面には、人間の修養を積み」「人間力を磨け」「不得手に挑戦」
- 第3章 「実るほど顔を垂れる稲穂かな」
- 第4章 「島岡式勝利の方程式は、(技術×練習)×元気+その日の調子」
- 第5章 「同じレベルだったら下級生を使う」
- 第6章 「明大野球部の存在意義は早慶を倒すことにある」
- 第7章 「打倒！江川、江川の高め球を投げて」
- 第8章 「グラウンドの神様に謝れ」
- 第9章 「旧来の価値を捨て」「悪貨は良貨を駆逐する」
- 第10章 「社会に出たら労働基準法などないと思え、ひたすら働け」「一事入魂」「初月給でいい酒を買え」

返信 明和寮を離れて
敬具 御大に捧げる

明大・島岡吉郎が現した10の熱血銘言



「ここは野球部の合宿所ではない。人間修養場だ」
 「野球の前にまず、人間の修養を積み」
 「人間力を磨け」

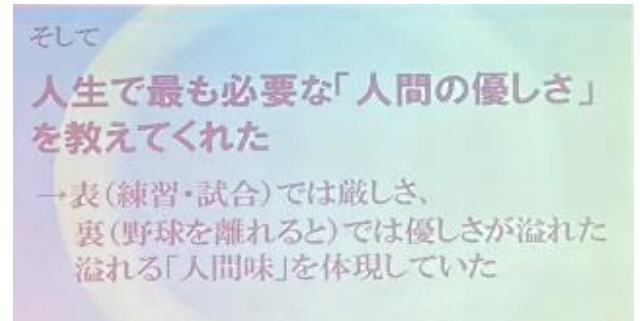
島岡監督は同じことを何度も何度も言いました。

上に立つ人が同じことを何度も言うということは重要なことですね。

島岡さんは東大を帝大と言うんです。

「帝大さんのいない六大学なんか
 気の抜けたビールみたいなものだ」
 と東大を重んじていました。

島岡監督にとって自分のチームが
 優勝することも大切ですが、それ
 以上に野球界全体のことを考える。
 人間味溢れる、人を引き付ける
 魅力のある人でした。



◆陶芸の会◆

日時： 7月25日（日）午前9時30分
 場所： 喜多窯霞仙 工房
 瀬戸市赤津町71番地
 TEL 0561-82-3255
 代表： 臼井 弘明会員（携帯 090-3300-2045）



◆ゴルフの会◆

日時： 8月25日～26日
 場所： メダリオン・ベルグラビアリゾート
 岐阜県恵那市串原 3 9 1 5
 TEL 0573-52-2212
 代表： 倉知 明弘会員（携帯 090-3833-9080）
 ワクチン接種を終えればカラオケもできるかと??
 詳細は後日ご案内します。



◆カラオケの会◆

日時： 開催日時は未定です。
 代表： 林 純一会員（携帯 090-1411-4186）
 ワクチン接種が進み、早く開催できればと思っております♪

